

武庫川総合治水対策の効果量（試算）

		対策施設	効果量	主な試算条件	
流域対策	学 校	検討済		対象箇所：114箇所 治水容量：38万 <sup>3</sup> （青野ダム流域以外の流域内のすべての学校） オフサイト貯留（敷地内の降雨をグラウンドに集水し、オリフィス構造でピーク降雨をカットする）	
			12m <sup>3</sup> /s		
	公 園	検討済		対象箇所：80箇所 治水容量：13万 <sup>3</sup> （青野ダム流域以外のすべての公園127箇所から選定） 公園（開設）面積0.1ha以上（公園内のため池が公園面積の多くを占めるものは除外） 基本的にオフサイト貯留、大規模なものは地形状況によりオンサイト貯留（グラウンドに降った分だけ貯留）	
			2m <sup>3</sup> /s		
	た め 池	検討済		対象箇所：108箇所 治水容量：140万 <sup>3</sup> （満水面積5,000m <sup>2</sup> 以上、流域面積0.1km <sup>2</sup> 以上、青野ダム流域以外、水深1m分だけ治水利用）	
			57m <sup>3</sup> /s		
	水 田	検討済		対象面積：1,539ha 治水容量：192万 <sup>3</sup> （貯留水深は畦畔嵩上げ無しで15cmに設定、面積は圃場整備面積から減反面積、本地率（実際に作付け出来る面積）を考慮し設定）	
		28m <sup>3</sup> /s			
防災調整池	検討済		対象箇所：176箇所 治水容量：147万 <sup>3</sup> （流域内のすべて）		
		12m <sup>3</sup> /s			
各戸貯留・雨水浸透型施設	検討済		以下の対策は進めるが、効果量の数値を算出するのが困難であるため、数値算入はしない。 （浸透施設） 流域内の50,000戸に浸透ますを設置した場合、効果量は9.72m <sup>3</sup> /sとなる。（概算値であり対策施設の箇所等の特定ができない） （各戸貯留） 各戸に雨水貯留タンクを設置し、治水活用として利用		
		数値化しない			
そ の 他 （駐車場、棟間、大規模開発）	検討済		対策は進めるが、効果量の数値を算出するのが困難であるため、数値算入はしない。		
		数値化しない			
河川対策	洪水調節施設	遊水地	（1）結果として湛水	検討済	採用しない 上流域農地、掘削なし、面積：108.3ha（13箇所）、治水容量：451万 <sup>3</sup>
				0m <sup>3</sup> /s ~ 39m <sup>3</sup> /s	
		（2）公共施設・都市施設	今後検討	-1 133m <sup>3</sup> /s -2 522m <sup>3</sup> /s	採用しない -1中流域公共施設、掘削、面積：16.4ha（5箇所）、治水容量：454万 <sup>3</sup> -2下流域公共施設及び民有地、掘削（民有地は地下貯留）面積：107.9ha（6箇所） 治水容量：3417万 <sup>3</sup>
	（3）河川施設	検討済	42m <sup>3</sup> /s ~ 228m <sup>3</sup> /s ~ 298m <sup>3</sup> /s	中流域に1箇所設置（面積：12ha 治水容量：30万 <sup>3</sup> 掘削有り） 中流域に2箇所設置（面積：64.1ha 治水容量：205万 <sup>3</sup> 掘削有り） 中流域に3箇所設置（面積：77.3ha 治水容量：273万 <sup>3</sup> 掘削有り）	
		今後検討		採用しない 4つのダム（青野ダム：116m <sup>3</sup> /s、深谷池：未試算、山田ダム：12m <sup>3</sup> /s、千苅ダム：189m <sup>3</sup> /s、）を 2m水位低下 治水転用 丸山ダム47m <sup>3</sup> /s（2m水位低下 治水転用）	
	利水ダム	今後検討	0m <sup>3</sup> /s ~ 317m <sup>3</sup> /s+		
新規ダム		-	-		
河道対策		-	-		

効果量は H16モデル降雨を対象とした数値である。（甲武橋地点、青野ダム有りのケースから各流域対策施設により流出抑制された流量を示している。）  
各対策施設の単独効果量である。  
現時点（H18.3.2）での試算値である。